

01-04 ジャズとクラシックの「接近遭遇」
山下洋輔 × 茂木大輔 対談 vol.01

05-06 写真で楽しむ「義経千本桜」

07-08 想像を絶する深みに到達した写真家 石元泰博

09-10 SERIES 映画・自分史・音楽・美術

11-12 voice お客様の声、から

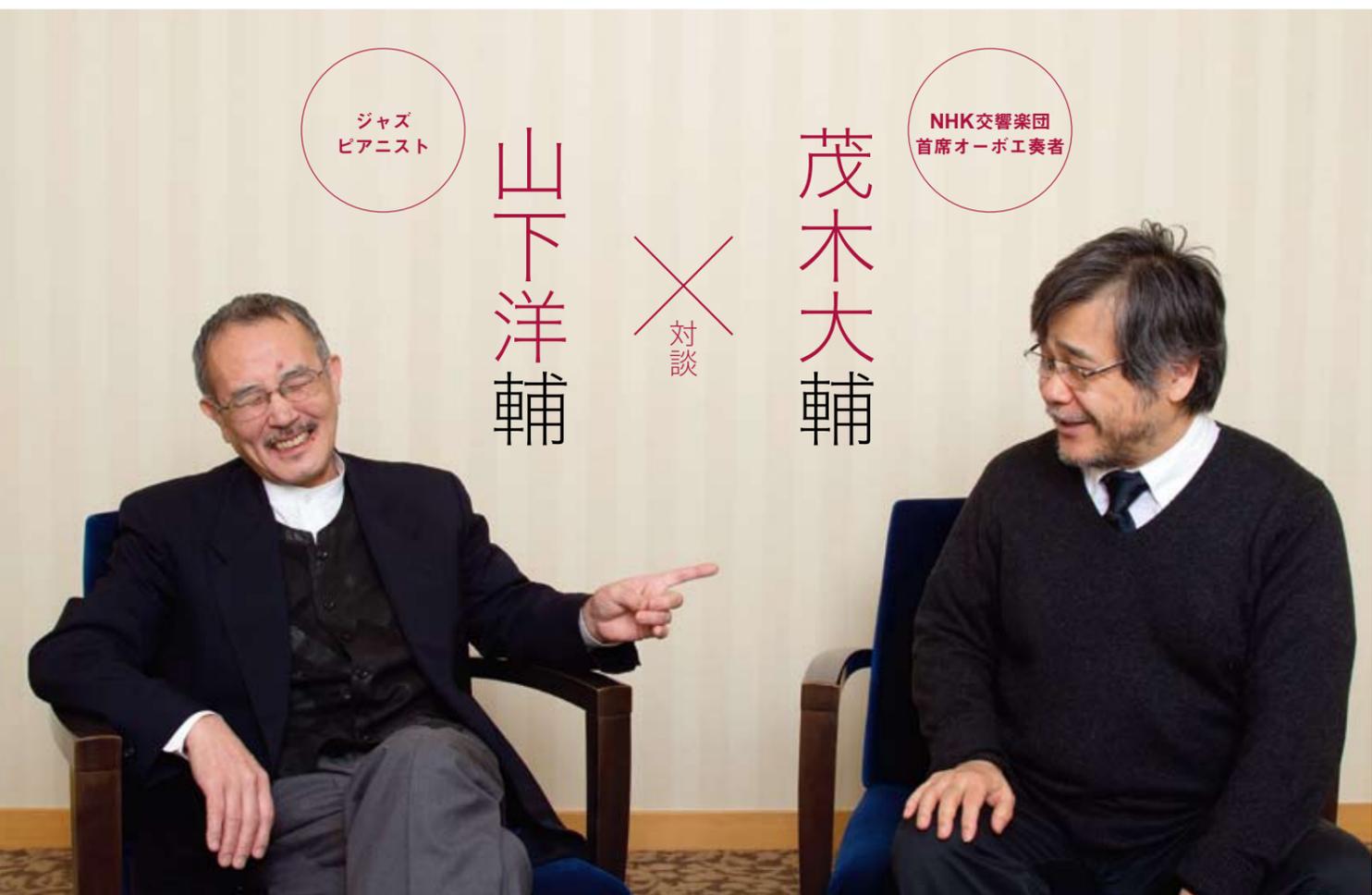
13 COMING SOON!

14 最近、こんなを読んでいます / PiPi NEW!! SHOP



「接近遭遇」

それぞれの音楽ジャンルで第一線を走る二人だからこそ、たまに遭遇すると、疾走感が2倍にも3倍にも増します。「展覧会の絵」や「ボレロ」も、二人の手にかかれば…！



ジャズ
ピアニスト

山下洋輔

対談

茂木大輔

NHK交響楽団
首席オーボエ奏者

6月に春日井で3度目の公演を行う、山下洋輔スペシャル・ビッグバンド。古希を迎え、ますますアグレッシブな活躍をみせる山下洋輔が新たに挑むのは、ムソルグスキーの大作「組曲『展覧会の絵』」。この難曲に、のため音楽会の指揮者としてもお馴染み、山下を慕ってやまないNHK交響楽団首席オーボエ奏者の茂木大輔が、ゲストとして参戦します。25年以上の付き合いを続ける山下洋輔と茂木大輔の同時取材は、彼らの音楽と同様、非常にスリリングで濃密でした。山下節・茂木節がさく裂する「ジャズ」と「クラシック」にまつわる会話を、誌上で楽しみください。

—山下さん、古希のお誕生日を迎えられましたね。おめでとうございます。

山下 誕生日は、ハノイのオペラハウスでベトナム国立交響楽団とのコンサートだったんですよ。

茂木 オーケストラの面々は、どんな感じでした？

山下 昼間はタクシーの運転手、夜は

…っていうやつです。

茂木 まさに宮廷楽団！

山下 ラブソディー・イン・ブルーでサックスを吹いてくれたのがジャズの連中、ある部分がブルースになったり。

茂木 ブルースセッション！

山下 本番で、仙波山をやる予定のところに、突然タンゴが始まって、なんだそりゃ、出番間違えた？と一瞬思ったんですが、だんだんHAPPY BIRTHDAYが流れてきたんです。2日目は驚かないよ、って思っていたら、別の曲で沸きあがって…。

まあ、そんなこんなで古希を迎えた、というわけです。

16人の精鋭達のビッグバンドですから「ボレロ」だって脱臼しちゃうんです(笑)

—さて、今回のビッグバンドコンサートでは、新曲をやろうと、実は2つの候補があがっていましたね。

山下 今回やることになった「展覧会の絵」と「春の祭典」だね。実は、前回のコ

ンサートが終わった時に、次は春祭だ！展覧会だ！と団員が盛り上がりね。これはいけるかな、と思って、アレンジの松本さんと相談し、結果的に展覧会の絵をやることになりました。

—けっこう長い曲ですよ？

山下 いろいろ工夫して、アドリブパートをいれたり、それこそ我々のことですから、プロムナードのテーマはしょっちゅう出てくるでしょうね。あとTV番組「ナニコレ珍百景」に使われているところは絶対やろうと思ってます。

—そして、ぐじゃぐじゃのボレロも。

山下 僕らのボレロは、あの特有のリズムをわざと最初から出さない、ぐじゃぐじゃなボレロで、最後だけ盛り上がるんです。フリーミュージック入り、ボレロのリズム概念を覆す作品、とでもいうのかな。筒井康隆さんはいみじくも「脱臼したボレロ」と言ってくださいました。独特のほめ言葉だと思いたいんですが。だって、ボレロが脱臼ですよ(笑)

茂木 それは、相当ですね(笑)。このメンバーだからこそ「脱臼」できるんですね。

やました・ようすけ

言わずと知れた、日本が誇るジャズピアニスト。1942年、東京生まれ。麻布高校在学中からプロとしての演奏活動を開始。69年、山下洋輔トリオを結成、フリー・フォームのエネルギーあふれる演奏でジャズ界に大きな衝撃を与える。国内外の一流ジャズ・アーティストはもとより、和太鼓やオーケストラなど異ジャンルとも意欲的に共演している。ひじで鍵盤を鳴らす独自の奏法“肘うち”は、山下の定番。演奏活動以外にも、作曲活動、母校・国立音楽大学での教鞭、作家の筒井康隆との交友やタモリの発掘でも知られ、独自の視点を生かした軽妙なエッセイや小説の執筆など、多岐にわたる活動を繰り広げている。

もぎ・だいすけ

「山下・筒井文化圏の申し子」と豪語する、オーボエ奏者・指揮者。1959年、東京生まれ。国立音楽大学在籍中から「クレイ」をきっかけに山下洋輔の追っかけとなる。ミュンヘン留学中に山下の演奏会場に出没し、冷し中華をご馳走するといって自宅に拉致、見返りとして無伴奏オーボエ曲の作曲を要請した。NHK交響楽団オーボエ首席奏者となり、帰国。96年より指揮活動を開始し、「のため音楽会」では全国のオーケストラを指揮。ドラマやアニメではクラシック監修もおこなった。また、本人いわく「山下のモノマネで出発」した執筆活動でも知られ、これまでに10冊以上の著書を出している。



2010年春日井公演的一幕。最後は観客から花束がわたされ、スタンディングオベーションで拍手が鳴りやみませんでした。

お二人の話が面白すぎるので、
次号にもインタビューの続きを掲載することにしました。
読めば必ず音楽が聴きたくなる、テンポの良いお話。山下さん、茂木さん、参りました。



ジャズとクラシックの話題は尽きません。
次号では「展覧会の絵」の裏話も、お話しします。

2012.3.5@東京・渋谷 [協力]フリーペーパー MEG [撮影]中野建太

**気持ちよくあわせる瞬間をいかに作るか
それがビッグバンドの見せどころ。**

—ジャズの魅力の中で「スイングする」というのがありますが、それは具体的にはどんなことなのでしょう？

山下 それは大昔からのジャズの謎ですね。一定のテンポで演奏しているのに、だんだん速くなっていくように感じる、絶対に遅くなる感じではありません。聴いている方からいえば、身体が自然に動きだす、拍子をとります、そういうものが伝わればスイングでしょう。演奏者からいえば、共演者と一緒に、ある瞬間スッと、超能力のようにアクセントやフレーズが合う、そんな時に「ああ、スイングしたな」って思います。

—ビッグバンドの場合では、どんな瞬間にスイングがきますか？

山下 ジャズコンボの場合は、みんながそれぞれ好き勝手やっていて、ある瞬間に合う快感はありますが、ビッグバンドの場合は、最初からあうように作ってあるわけですから、一番気持ちよくあわせ

ればいいわけです。
茂木 指揮者がいないですからね。
山下 時々松本くんがでてきて、キューは出しますけれど。

**あの指揮者がどうして素晴らしいのか
説明できる人なんて、いないと思う。**

茂木 交響楽団の場合、その快感が作れるか作れないかは、ひとえに指揮者にかかっているんです。どんなに楽譜通りであっても、どれだけ練習しても、結果的に面白くない場合や、音楽として鳴り響かないときがあります。優れた指揮者というのは、演奏しているうちに、わけのわからない興奮や、トランス状態に入り込める状況を作れるんです。でも、その指揮者だから毎回、というわけでもない。指揮者なしで演奏してみるとよくわかります。N響でも、アッシュケナージが本番中に怪我していなくなったけど、最後まで演奏した、っていうことがありました。コンサートマスターが最初に合図しておけば、一応は聴覚的に演奏していく

ことが可能なんです。ただその演奏は、どこか妙に緊張感がみなぎりました。つまり、あわせていくことにみんなが神経を使うからです。指揮者は、オーケストラを安心させ、迷い子になったり、バラバラにならないように、指揮棒に向かってみんなの糸を紡いでいく。だからこそ、奏者はのびのびと演奏できる。

結局、人間性ってことに尽きるんですが、スイングと同じで、あの指揮者がどうして素晴らしいのかを説明できる人はいないと思いますね。名演とは何か、についてもね。

山下 アッシュケナージが指揮棒で手を突き刺したってやつですよ？ 僕もラブソディーなんかでクロス奏法をやっていると、爪で手の肉をこそげとっちゃうんです。

茂木 (のぞきこんで) また、すごいえぐれてますね。

山下 こういう怪我は、やってみろ、っていわれてもできないよね。夢中だからやっちゃう。指揮者って危ないですね。

茂木 後ろへ落ちる人とか…。自分で怪我するぶんにはいいんですけど、指揮棒

を叩いて、それが飛んで、楽団員が怪我をしたり…。

山下 修羅場だなあ。

**スイング感やライブ感を出すために、
ドラムが弾みを作り出すんです。**

茂木 普段オーケストラにいる人間として、今回のビッグバンドは、即興を含み、指揮者がいない状況で、みなさんがどうやって音楽を、一体感を作っていくのか、非常に楽しみです。特にクラシックの曲も演奏させてもらうので、すごく興味があります。ドラムが指揮者的な役割をしているのですか？

山下 キューはよく出します。

茂木 リードして引っ張っていくんですね。時間ってけっこう力をいれないと流れないので、気持ちよいテンポにするために少し押しとか、よし、いこう！って引っ張るとか。ドラムが指揮をやっているんだと思いました。

山下 なるほど。僕も経験があります。ベトナムの演奏の時に、ドラムを叩いて

くれたのがパーカッショニストの人たちだったんです。クラシックの人がドラムを叩くと、テンポはあるんだけど、スイング感やライブ感に少し欠けるんですね。普段はそんなことしないのですが、練習が終わった後に、お願いを2つしたんです。絶対に遅れないこと、それから四小節ごとに、何かやってくれ、と。それが弾みになるんです。

**快感につながるのが「いい音楽」。
「熱い」とか「辛い」も必要なんです。**

茂木 そういえば、巨匠の指揮者たちを専門に教える大先生のレッスンでは、同じ小節を2小節同じように振ってはならん、1小節ふつたら、次の1小節は変えろ、と教えていたそうです。

クラシックは楽譜至上主義のところがありますから、楽隊たちは同じように演奏するように教育されています。指揮者はそれを変えるんです。時間でも、バランスでも、その方が面白い音楽になるんじゃないか、ということです。なかなか

かできないことなんですけれどね。
いいドラマーも、同じことは繰り返さないんじゃないですか？ テンポだけみても、速くなったり、あるいはテンポという概念からはみ出した、もっと違うことをやろうとしていたり。それが不自然だったりギクシャクするのは誰にでもできますが、人間の快感につながると、いい音楽になるんだと思います。

人間同じことをやっていたら飽きますし、繰り返してどんどん怖くなる。ショスタコーヴィチはそれをうまく使った曲を多く作っていますね。ポレロにもそんな怖さがありませんか？

山下 ありますね。

茂木 不快感が充満してくるので、それを最後のクライマックスで一気に壊す。

山下 カタルシスだね。

茂木 クラシックってそういう曲が多いんです。第九も最初の40分間は楽しくないですから(笑)。ただ、ヨハン・シュトラウスだと、美味しいお菓子ばかり食べてる気分になるんで、「熱い」とか「辛い」が必要なんじゃないかな。(次号へ続く)

注1) ベトナム国立交響楽団とのコンサート 70歳を記念するコンサートとして、山下が大好きなハノイで、本名徹次氏が指揮するベトナム国立交響楽団と、自作の「仙波山」、「ラブソディー・イン・ブルー」、「A列車で行こう」や、グレン・ミラーのナンバーなどを演奏した。
注2) アレンジの松本さん 山下洋輔スペシャル・ビッグバンドの演奏曲アレンジは、作曲家・編曲家の松本治がおこなっている。ビッグバンドではトロンボーンを演奏。指揮をする場面も。
注3) ジャズコンボ 少人数の編成によるバンドのこと
注4) アッシュケナージ ピアニストで指揮者。2004～07年にはNHK交響楽団の音楽監督を務めた。退任後は桂冠指揮者に任じられている。
注5) ショスタコーヴィチ シベリウス、プロコフィエフと共に、マーラー以降の最大の作曲家として評価されている。交響曲の大家。
注6) ヨハン・シュトラウス ウィーンで活躍した作曲家で指揮者・ヴァイオリニスト。生涯の多くをウィンナワルツの作曲に捧げ、「ワルツ王」と評される。



「すごい、えぐれてますね」「あっちゃー、血がでちゃったー、って」

山下洋輔 スペシャル・ビッグバンドコンサート2012

6/24(日) 16:00～ (開場は30分前) | 春日井市民会館

[チケット情報] PiPi会員電話先行予約日3/31(土)～4/4(水) 一般発売4/7(土)～
[料金] ¥6,500、学生券¥3,000 PiPi会員¥6,000、学生券¥2,500



全席指定、当日券同額、未就学児不可、学生券は25歳以下が対象

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード163-899)、ローソンチケット(Lコード48431)、名鉄ホールチケットセンター
[演奏予定曲目] ファースト・ブリッジ(山下洋輔)、グルーヴン・パレード(山下洋輔)、ロッキン・イン・リズム(D. Ellington)、スイングしなけりや意味がない(D. Ellington)、ポレロ(ラヴェル)、組曲「展覧会の絵」(ムソルグスキー)、ほか

[主催] かがしい市民文化財団、プラネットアーツ [企画制作] プラネットアーツ、ジャムライズ





義経の恋人・静御前を守る忠実な家臣・忠信、実は狐の化身だった！
 三大傑作のひとつ“義経千本桜”の中でも特に人気の高い、
 狐忠信を主人公とした三幕を一挙上演します。佐藤忠信 三変化!!

写真で楽しむ「義経千本桜」

衣装から読み解く、見どころ解説

テキスト 歴史と着物好き スタッフ 小松淳子

松竹大歌舞伎

7/14(土) 12:00～ / 17:00～ (開場は30分前) | 春日井市民会館
 [料金] 一般 SS席完売、S席¥6,500 (僅少)、A席¥5,500、B席¥4,500、C席¥2,500 (僅少)
 PiPi会員は上記金額の¥500引き 全席指定、当日券同額、3歳以上有料
 [チケット情報] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード418-155)、ローソンチケット(Lコード47483)、名鉄ホールチケットセンター
 専用シャトルバスを運行!
 片道¥100(予約不要) 春日井駅⇄市民会館
 ・JR春日井駅→市民会館 11:00～開演まで / 16:00～開演まで
 ・市民会館→JR春日井駅 終演～30分程度

義経 尾上菊五郎	道行初音旅 尾上松緑	鳥居前 尾上松緑
川連法眼館 尾上松緑	中尾村上時菊五蔵郎	尾上菊五蔵郎

第一幕

強さの象徴、スーパーヒーロー登場!

鳥居前
尾上松緑、尾上菊之助… 佐藤忠信



静御前を拉致しようとした狼藉者を、蹴散らしに出てくる勇ましい姿の佐藤忠信。
 顔は火焰隈という紅い隈取りに、鬘は荒事でよく使われる“菱皮”、衣装は馬簾付きの“四天”(裾の両脇にスリットを入れ、動きやすした短い着物)を着て、浅葱色と紫色の仁王だすきを大きい蝶結びに結んでいます。また、手足まで隈取りをした肉襦袢を着て、力強さを前面に出しています。
 忠信の活躍によって静御前は助けられ、義経は忠信の功績を讃えます。そして、忠信に静御前と同行し、彼女を守るよう命じられていた。

第二幕

旅姿にも工夫あり

道行初音旅
中村時蔵… 静御前



義経がいる桜満開の吉野山へ向かう静御前。“初音の鼓”を入れた紫の風呂敷を背に掛けて、手には銀色の杖、薄い絹張りの常盤笠を持った旅姿です。また、紫の縁取りがある常盤衣(コートのようなもの)を着て、腰には鮮やかな黄のウコン色のやわらかな帯を巻いています。ウコンは昔から炎症止めの薬として使われてきました。ウコン染の布は道中、怪我をした時に、包帯代わりにもなったのです。
 この幕は舞踊「吉野山」としても有名です。中でも静御前が前に座り、後ろに忠信が袖を広げて立つ姿が、まるでお雛様(立雛)のように見える「女雛男雛」の場面が見どころとなっています。

輝く家紋は佐藤のしるし

尾上菊五郎… 佐藤忠信



「鳥居前」とは違って変わって、二枚目姿の忠信。
 しっとりとした静御前との踊りの後、忠信の源平合戦を再現する踊りが始まります。それまで着ていた茄子紺の着物を脱いで赤の襦袢姿となり、武勇伝や兄・継信との別れの場面を踊りで表現する、この幕一番の見どころとなっています。赤縮緬に縫い付けられた紋は「源氏車」。「佐藤」を姓とする家では、この「源氏車」を家紋とするところが多いそうです。「佐藤」は、藤原氏の子孫が左衛門尉という官位に任ぜられたため、左(佐)の藤原で佐藤になったという説があります。この佐藤氏が伊勢神宮に務めていた時に、貢物を運ぶ牛車の車輪を家紋としました。この紋が「源氏物語絵巻」に出てくる御所車に似ているということから、源氏車と言われるようになりました。放射状に輝く金の車輪は、忠信の強さが内面から溢れ出し、光り輝いているかのようです。

第三幕

立ち居振る舞いも狐そのもの

川連法眼館
尾上菊之助、尾上松緑… 佐藤忠信 実は源九郎狐



静御前に同行していた佐藤忠信は、実は「初音の鼓」の皮に使われた狐の子ども… 源九郎狐でした。鼓のそばに居たいがために、忠信に化けていたのです。
 ここでの扮装は、狐の耳に見たて垂れ下がった毛先の鬘と白い髪飾り、白地に赤の火炎宝珠を散らした着物です。また、紅で鼻の下に線を書き、獣の口を表現しています。そして狐手と呼ばれる独特の手の形に、狐言葉というせりふ回して、狐を表現する様々な工夫が凝らされています。親を慕ってここまで来た狐の情に感じ入った義経は、鼓を狐に与えます。喜んだ狐は、妖力で義経の敵を打ち負かし、古巣へと帰ってゆくのでした。

- ① 勘亭流文字で団扇を作ろう
5/19(土) 14:00～ | 文化フォーラム春日井・会議室
[参加費] ¥500(材料代) [定員] 20名 [応募] 4/7(土)～5/6(日)
※応募者多数の場合は抽選。 [講師] 川田真壽(勘亭流書家)
- ② 落語で楽しむ義経千本桜の世界 案内人 歌舞伎ソムリエ・おくだ健太郎
第76回かすがい芸術劇場 林家正雀 歌舞伎落語「猫の忠信」
6/10(日) 14:00～(開場は30分前) | 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
[料金] ¥2,500 PiPi会員¥2,200 全自由席、当日券同額、未就学児不可
★歌舞伎チケット購入者には、¥500キャッシュバックあり!!
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード418-424)

- ③ 和装講座
6/30(土) 14:00～ | 文化フォーラム春日井・会議室
※要申し込み。詳細は、後日HPにて発表。 [講師] 宮島一聡(※美屋呉服店)
 - ④ なりきり歌舞伎体操
7/8(日) 10:00～ | 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
[参加費] 無料(足袋もしくは靴下、運動着、飲み物を持参)
[定員] 25名 [応募] 5/12(土)～6/10(日) ※応募者多数の場合は抽選。
[講師] 中村橋吾(歌舞伎役者)
- [①③④参加方法] 講座名・〒・住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、はがき、FAX、メール(ws7@lib.city.kasugai.aichi.jp)にて申込み。



造形的なモダニズムを追求した写真で、多くの写真家やデザイナーに影響を与えた写真家 石元泰博。「怒りの人」、「怖い人」として知られる石元さんですが、いくつもの撮影現場を共にしていた滋子夫人との写真では、どこか穏やかに見えます。何度も石元さん取材した、元日経デザイン編集長の森山明子さんが、石元さんについて、彼がシカゴで暮らした時代の作品と共に紹介します。

〔撮影〕須藤昌人

想像を絶する深みに到達した写真家 石元泰博

テキスト 森山明子（武蔵野美術大学教授）

「モノクロの造形美で魅了」「モダニズムを貫徹」「刹那と永遠を焼き付けて」「許せぬ理不尽」——これらは本年2月6日、90歳で逝去した写真家・石元泰博さんの新聞掲載の追悼文のタイトルです。共同通信配信の筆者自身の追悼文には「日米を生きた孤高の写真家」「モダン極め 超えた写真家」といった題名が付され、地方紙10紙に掲載されました。石元さんの経歴は特異です。1921年、高知からの農業移民の長男としてサンフランシスコに生まれ、3歳で高知に渡り農業高校を卒業して単身渡米。第二次世界大戦時には日系人収容所を経験し、大戦後ニューバウハウスと通称されたシカゴの教育機関で学びました。53年に来日、日本国籍の取得は69年、紫綬褒章を受章し文化功労者でもありました。

世界の主要美術館は彼の写真を収蔵し、その数は米国とカナダだけで1,300点を超えます。亡くなった時には、ドイツのパウハウス美術館で代表作・桂離宮の展覧会の会期中。彼は最期まで、世界の写真界の主要なプレーヤーだったのです。ひとりの表現者の営為を一語で形容するなど、無謀極まりません。モダニズムの写真家——しかし石元さんはモダンを超えた存在であったと思うのです。桂離宮を撮影した“異邦人の眼”——けれど、20年後に“無私の眼”で見た曼荼羅は、見る者を平安の密教空間にいざないます。さらに20年後、式年遷宮の伊勢神宮では対象に寄り添い、写真は清浄であることこの上ないのです。式年遷宮は「常若」を願ってのことだと言われて

いますが、日本を撮影する彼の眼にも20年ごとの「常若」があったのだと思います。

写真家としての60年間に石元が撮った被写体は多岐にわたります。

「イロイロな写真も元を正せば人間の営みの諸相を撮っているだけであって、撮る側には、何の矛盾も戸惑いもない」

（『アプローチ』1992年秋号）

たゆまざる思考の結実としての作品。石元泰博は、想像を絶する深みに到達した写真家だったのです。

- 注1) 桂離宮 1953-54年に撮影。大胆な構図で桂離宮の見方を決定づけた。
 注2) 曼荼羅 1973年、京都 教王護国寺（東寺）の国宝 伝真言院両界曼荼羅を接写で撮影。
 注3) 伊勢神宮 1993年、御神体が入る以前の殿舎を撮影。
 注4) 常若 いつまでも若いこと。また、そのさま。

「先生と撮影をご一緒したときに歩いた記憶がないんです。いつも絶対に走っていきたくてはいけません。」

1970年代、雑誌『太陽』では松本清張の文と石元の写真で成りたった特集がいくつも掲載された。品川の石元宅にも何度か足を運ぶほど、松本は写真家としての石元を評価していたという。編集担当者は、いつも石元の後ろを走っていた。



チョコレートの少女に隠されたもの

『シカゴ 子供』1948-52 高知県立美術館所蔵

シカゴで1937年開学のインスティテュート・オブ・デザイン（後にイリノイ工科大学に併合）在学中の写真。少女が持つのは「チェスタフィールド」なる銘柄のタバコ——写真家はそう思い込み、愛煙家の父親を想像したりしたのですが、実は同名のチョコレートだった、そんなエピソードがあります。都市に氾濫する言葉、数字、商品名といった記号は、石元さんの写真において実に効果的に登場します。メイドが広げる雑誌の中のバーボンウィスキーの広告、野球場の柱に書かれた「9」、老女の後ろのポスター中の「FEMME FATALE」（宿命の女）などなど。そうした記号は文化の違いによる作品受容の問題とからみ、石元の写真を陰影あるものになっています。（森山）

風の街シカゴで“瞬間”を追いかける

『シカゴ 街』1959-61 高知県立美術館所蔵

「Windy City」と呼ばれる、シカゴのとある公園で新聞が舞っていました。その新聞紙をカメラで追いかけること1時間ほど。一方は畳まれたまま、もう一方はくしゃくしゃの状態宙にとどまる瞬間を撮るには、それだけの待機の時が必要でした。くっきりとした2つの影——よく晴れた日の正午ごろの光景だったでしょう。オバマ大統領夫妻にゆかりの深いシカゴは雪の街でもあり、かつてギャングの街と呼ばれました。風物詩は、高層建築、雪の降り積んだ乗用車、堂々たる体型の黒人、仮面をかぶったハロウィンの子供たち……。石元は1945年から7年、ついで59年から3年間、この街に住んでいました。街を知り尽くしての写真には、シカゴの光と影の凝縮があります。（森山）



写真家 石元泰博をより深く知りたい方へ 森山明子著「石元泰博—写真という思考」

2009年、石元さんは武蔵野美術大学に多重露光写真87点を寄贈、翌年には大学出版局から拙著「石元泰博—写真という思考」を発刊できました。モノクロの造形美は確かに人々を魅了します。しかし受贈記念展の折に、輝くばかりのカラー多重露光作品は「モダンの極み、モダンを超える」ものだとの実感をえました。石元さんとの初対面は1985年。04年に彼がニューヨークで脳梗塞を患い、06年に夫人の滋子さんが突然世を去ったのが、評伝執筆の動機でした。（森山）



2010年5月刊行
武蔵野美術大学出版局
¥4,410

高知県立美術館所蔵 写真家 石元泰博 —時代を超える静かなまなざし—

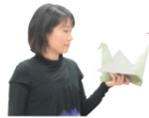
9/8(土)～10/11(木) 10:00～17:00(入場は30分前まで)
| 文化フォーラム春日井・ギャラリー

[チケット情報] 一般発売6/20(水)～
[料金] 一般 ¥500、前売・PiPi会員・学生(高校生以上)・団体(20名以上) ¥300
中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名 無料
[助成] 財団法人地域創造

巡回先情報 今治市河野美術館 8/4(土)～8/30(木)
佐世保市博物館島瀬美術センター 10/20(土)～11/25(日)

舞うペーパーバードに、落ちる涙

text. 映画担当 小松淳子



日本の折り紙の「鶴」と似ています

いい映画、お先に拝見

この「ペーパーバード」は、日曜シネマシリーズの中でも、ベスト3に入る傑作である、と個人的には思います。

舞台は1930年代のスペイン、軍事政権の時代。喜劇役者のホルヘは、内戦で妻子を失い、悲しみのあまり行方不明になります。1年後、劇団に戻ってきた彼は、相方のエンリケ、そして亡くした息子と同じ年頃のミゲル少年と暮らすことに。そんな中、軍はホルヘに反体制派の容疑をかけ、劇団にスパイを送り込むのです…。

家族との別れ、父と子の絆、母探し、舞台コメディ、サスペンス、大どんでん返し、驚愕のラスト… 2時間でんこ盛りの内容は、まるでフルコースを食べているような満腹感！ 加えて最後のペーパーバードが舞うシーンで、思わず涙。「デザートまできっちりいい仕事まっせ！」という、職人芸の上手さを感じる構成になっています。

映画を見た後にチラシを見ると、また涙が。涙は観た人でないとわかりません。この余韻、是非あなたも。



第31回かすがい日曜シネマ「ペーパーバード 幸せは翼にのって」

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

5/20(日) ① 10:15～ ② 13:45～ (開場は15分前)



[料金] 一般 ¥900、ペア ¥1,700 (当日各 ¥200増)、3作品通し券 ¥2,500

PIPi会員 ¥800、ペア ¥1,500、3作品通し券 ¥2,100 (当日同額)

全自由席、上映時間指定、3歳以上有料

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約

監督:エミリオ・アラゴン スペイン映画 2010年/123分/カラー・日本語字幕

自分史センターで読書タイムを満喫してください!



“旅する読書”のススメ

text. 自分史担当 越賀登起子

みなさんは自分史をご覧になったことがありますか。ノンフィクション小説やドキュメンタリー、最近ではブログや旅行記なども自分史として扱われることがあります。それらの共通点は、日常の大切な記憶が、ありのままに記されていることです。

とくに私は、海外へ旅をする自分史が好きです。旅の記述がある自分史を手にとると、その土地の情景や人々の温度が伝わり、本当に旅行をしているよう。そして、丁寧に調べられた文化や歴史背景から、まだ見ぬ土地に想いを馳せるのです。

実は、「自分史」という言葉が歩み始めたのは1975年のこと。歴史家である色川大吉氏の著書『ある昭和史-自分史の試み』によって世間に浸透したと言われ、まだまだ歴史の浅い文学と言えます。人の“想い”に寄り添って歴史探訪やその時代、その土地の文化を読み解くことができる、自分史のロマンはずっとずっと奥深いのです。



一人ひとりの記録

日本自分史センター | 文化フォーラム春日井・2F

9:00～19:00

全国から寄贈される自分史図書で、「日本一の自分史図書館」づくりを進めています。現在の蔵書数は約9,900冊です。

- ・開架式書棚で気軽に手にとってご利用いただけます。
- ・本の貸出をしています。(1人2冊2週間)
- ・みなさまに閲覧いただく、自分史作品の寄贈をお願いします。

音楽まめマメ知識

ギャップにイチコロ

text. 昼コン&夜コン担当 大山鋭裕



総延長は約3メートル、重さは約4kg



この楽器には、呼び方が2通りあります。主にヨーロッパでは「ファゴット」と呼ばれ、アメリカでは「バスーン」と呼ばれます。のはほ〜んとしたやさしい音をする楽器ですが、奏者は、のんびりしてられません。両手10本全ての指を使うからです。他の木管楽器の運指には、“楽器を支える”専門の指(リコーダーでいう右親指)がありますが、ファゴットは、左人差し指で支え、その指でも穴をふさぎます。その他の指も忙しく、指によっては穴のほかに操るキー(ボタン)が10数ヶ所! いっぺんに操作はしませんが、2つのボタンを同時に押す場合もあります。何が何だか分からなくなりそう…。

昼コン&夜コン | 文化フォーラム春日井・交流アトリウム | 入場無料

- ☀️ 4/7(土) 14:00～ 昼コン「グランドハーブデュオ」 [出演] 松浦元美(ハープ)、神谷知佐子(ハープ)
- 🌙 4/13(金) 19:00～ 夜コン「リー・リー・リード」 [出演] 安原太武郎(オーボエ)、大津敦(ファゴット)、安原千絵(クラリネット)、小宮尚子(ピアノ)
- ☀️ 5/12(土) 14:00～ 昼コン「吹・木・金」 [出演] 日下部任良(サクソフォーン)、大宅さおり(ピアノ)
- 🌙 5/25(金) 19:00～ 夜コン「Francなひととき」 [出演] Franc木管五重奏団 荻本美帆(フルート)、中川愛(オーボエ)、工藤雄司(クラリネット)、熊谷直美(ホルン)、小野木栄水(ファゴット)

ちかくの、芸術

感情のこもるところ

text. Shift Cube担当 丸山和代



作品の色合いからピカソの「青の時代」を思い出しました



「mirror」 2011, 652×530mm, 油彩・キャンバス

ペインティングナイフ



主役の絵具たち。左からセルリアンブルー、テールベルト(緑)、アイボリーブラック、チタニウムホワイト

2010年に描かれたドロイング「カーテン」

初めて見た清水鮎美さんの作品は、青い背景の、試着室でセーターを脱ぐ人の油絵でした。けしてグロテスクではないのになぜか皮膚が剥けるところを想像してしまい、その場に立ちつくしたことを覚えています。

彼女の作品は、主に青いモノトーンで表現されます。制作初期、暗い色の下地の上に白い絵具で描かれた画面は、ちょうど黒板に白いチョークで描いた様子に似ています。過去に消された線が完全に消えず、新たに描かれた線と重なり合うことで、背景から沁み出してくるかのようモチーフが浮かび上がります。行程を経て現れた表情のない人物は、鏡の中の自分を見つめるようです。

「マイナスの感情を込めつつも、おかしみを加えている」という清水さん。作品の前に立つと、自分を縛る衣服からすると脱け出せるかのような、軽やかさを感じます。

SHIFT CUBE | 文化フォーラム春日井・交流アトリウム | 入場無料
清水鮎美 展「引力と斥力」 4/22(日)～6/23(土) 9:00～20:00



どの作品があなたは好きですか？ その作品で印象に残った色を3つあげてください。

・作品名 (花) 作者名 (アンリ・ルソー)
 ・印象に残った色

うすいきいろ くろいあお 白い花がうたった土のいろ
 好きな絵をもう一度よく見てみよう。なぜ好きなのかな？ きつと、それは、作者が
 一番描きたかったこと…。感じたことを自由に書いてください。

あけかたのようなしずけさがあることゆきな祭会。
 なにかうまいえないいけときれいなかんじ
 じほんとうにゆはにいらるようなかんじ
 になる

***** 見学にきた小学生の声、から *****

どの作品があなたは好きですか？ その作品で印象に残った色を3つあげてください。

・作品名 (花) 作者名 (アンディ・ボウ)
 ・印象に残った色 ピンクと白

好きな絵をもう一度よく見てみよう。なぜ好きなのかな？ きつと、それは、作者が
 一番描きたかったこと…。感じたことを自由に書いてください。

日があたっているところは黄色ぽくなっている
 青空の下にあるのがきれい
 町の中にある山が霧から住んでみたいと思った



世田谷美術館コレクションによる アンリ・ルソーと素朴な画家たち いきること えがくこと

1/21 (土) ~ 3/18 (日) 文化フォーラム春日井・ギャラリー

●一人一人の画家の一生と自分の一生を重ねてみる
 ことができました。(40代・男性) ●ルソーはもちろん、他
 にも面白い絵をたくさん見れて嬉しかったです。バスキ
 ア、ボテロを生で見るのは初めてでした。(30代・女性・名
 古屋市) ●素朴な作品、重々しい作品、悲哀を感じさせ
 る作品など、興味深く鑑賞しました。それぞれの作品から
 画家の気持ちが伝わりました。(40代・男性・春日井市)



平成23年度公共ホール現代ダンス活性化支援事業 第74回かすがい芸術劇場 森下真樹ダンス公演「これって、ダンスなの？」

2/26 (日) 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、交流アトリウム

●面白かった。「春日井うずうず音頭」がぐるぐるしてる。(30代・女性・名古屋) ●コン
 テンポラリーはイメージ的に「訳がわからない踊り」という頭がありましたが、ステー
 ジではなく、目の前で見て、その迫力に圧倒されました。人間の体って美しいなと思
 います。(40代・女性・春日井市) ●ワークショップ作品の完成度の高さにびっくり。春日
 井まで新幹線使って観にきた甲斐がありました。(50代・女性・東京都世田谷区) ●はじめ
 てダンスが楽しいと感じました。ありがとうございます。(20代・男性・知多郡東浦町)
 ●こんなダンスは初めて見ました。とても素晴らしかったです。(60代・男性・市外) ●春
 日井うずうずダンサーズの皆さんが、とてもしっかりとしたダンスをされていたのが印
 象的でした。森下さんのたたずまいと抜け感がとてもステキでした。(30代・女性・市外)

第13回自分史フェスタ 2/12 (日) 春日井市民会館

●初めての参加です。自分史の活動内容が少しわかりました。紺野さんの朗読は素晴
 らしかったです。また聴きたいです。(70代・男性・春日井市) ●朗読された4作品共に、
 物の大切さ、家族との関わり方の参考になり、今後の生き方の参考にしたと思いま
 した。(60代・女性・春日井市) ●全国公募をしたりと、活発な活動に驚くほどで、みなさ
 んの熱心な参加に感心しました。原さんはもちろんですが、紺野さんの進行がとても
 良かった。素敵な方ですね。(40代・女性・春日井市) ●ピアノとヴァイオリン、そして朗
 読と初めてのことでしたが、とても良かったです。(60代・女性・春日井市)



上妻宏光 藤原道山 Concert「和心伝心」 3/10 (土) 春日井市民会館

●最高!! お二人の共演で、また春日井に来てください。(50代・女性・春日井市) ●三味線
 のメリハリの効いた演奏や、尺八の伸びやかな音色がとても素晴らしかったです。(30代)
 ●道山さんの音の豊かさに感動しました。5つの穴だけであれだけ多彩な音を、西洋楽
 器の音程に正確に合わせて紡ぎ出せるなんて!(女性) ●お二人とも素晴らしいテク
 ニックに感動しました。邦楽を若い感覚で広めていって欲しいです。出演者全員が楽
 しそうなのが良かったです。(50代・女性・春日井市) ●春日井のコンサートで、一番感動し
 ました。日本人に生まれて良かったと思わせるコンサートでした。(60代)

COMING SOON! >>>



華麗な所作で色気と品を醸し出す、芝居囃といえよこの男!

大師匠・桂米朝と師匠・桂吉朝の名前を受け継いだ、若手上方落語家のホープ、桂よね吉。老若男女、常連さんも一見さんも同じように楽しめるのが、よね吉落語の特徴です。遊びのエッセンスが込められた、よね吉落語の持ち味を、思う存分お楽しみあれ。

第75回かすがい芸術劇場
桂よね吉 独演会 4/22(日) 14:00 ~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
¥2,500、PiPi会員¥2,200
全自由席、未就学児不可、残席わずか!



ミュージカルの名作を低料金で! 松平健がシャム王を演じます

胸はずむ名曲「シャル・ウィ・ダンス」でお馴染み、ブロードウェイ・ミュージカルの傑作がやってきます。豪華キャストもお楽しみに。

ミュージカル「王様と私」
8/9(木) 18:00 ~、10(金) 13:00 ~
@春日井市民会館
PiPi会員先行予約 5/12(土)~16(水)
一般発売 5/19(土)
¥3,500、団体割引(10枚以上同時購入) ¥3,000
PiPi会員¥3,000 ヘア券¥5,000
全席指定、当日券同額、未就学児不可



昼コン&夜コンがホールから外に飛び出します!

今年の昼コン&夜コンは、交流アトリウムでのコンサート以外に、木野瀬印刷株式会社のサポートを得て、みなさまの元へ生の音をお届けします。詳細は後日、HPにて発表します。

ご協賛をお願いします
昼コン&夜コンは、お喋りを交え、カジュアルに楽しめる、無料の手作りコンサートです。このコンサートはお客さまのご協賛が支えられています。会場にてご芳名と協賛金を募っています。スタッフまでお気軽にお声掛けください。



自分史のスーパーバイザーが世界に一冊の本の作り方、教えます!

自分史を書いたことのない方におすすめ! まずは、自分史の基本から学びましょう。
自分史入門講座「自分史の書き方・つくり方」
5/11 ~ 6/8までの毎週(金) 全5回
10:00 ~ 12:00
@文化フォーラム春日井・文化活動室
¥2,500 [定員] 20名
[募集期間] ~ 4/27(金) 必着
[講師] 加藤迪男(日本自分史学会常任理事)
※ハガキ、FAX (0568-82-0213)、メール (bungei@lib.city.kasugai.aichi.jp) にて申込み



「楽しく、賑やかに!」エッセイ執筆に挑戦しましょう

シナリオライターとして活躍する講師が、文章のポイントを、丁寧に教えます。
エッセイ講座
6/7 ~ 8/9までの毎週(木) 全10回
19:00 ~ 21:00
@文化フォーラム春日井・文化活動室
¥5,000 [定員] 20名
[募集期間] 4/13(金) ~ 5/18(金) 必着
[講師] 芳賀倫子(シナリオライター)
※ハガキ、FAX (0568-82-0213)、メール (bungei@lib.city.kasugai.aichi.jp) にて申込み



限られた字数のなかで、観察力を駆使して表現しましょう

第32回 春日井市短詩型文学祭 作品募集
募集期間 5/2(水) ~ 6/15(金) 必着
[部門] 一般の部: 短歌・俳句・川柳・狂俳・詩小・中学生の部: 短歌・俳句・川柳・詩
[応募条件] 春日井市在住・在勤・在学者、または春日井市内で活動するグループに所属している方 [応募料] 無料
春日井市短詩型文学祭 作品展
10/27(土) ~ 11/4(日) 9:00 ~ 16:30
@文化フォーラム春日井・ギャラリーラウンジ、附属室

なりきり歌舞伎体操 | 湯浅景元

歌舞伎といえば、「いよ〜お!」でおなじみの「見得を切る」ポーズが印象的。この本は、そんな歌舞伎独特の所作をわかりやすく解説してくれます。私も実際に身体を動かしてみましたが、エクササイズ感覚で親むことができました。(太ももが筋肉痛になりました...) 所作に込められた意味を知ると、役者さんの鍛錬を積んだ「本物の動き」を親に行きたくなってしまいます。名台詞をあらすじや見どころと共に紹介しているので、歌舞伎見物が格段に面白くなるはずです。(M.F.)



即興ラブソディー 私の履歴書 | 山下洋輔

日経新聞で2011年6月に連載された、山下洋輔さんの「私の履歴書」。毎日の連載が1冊にまとまり、さらに山下さんの「履歴」にまつわるエッセイを加味したのが、本書です。山下さん独特の視点と軽妙な文章はやっぱ面白いんです。(私が好きなのは「こうなるまでの長い間」という、1976年に書かれたエッセイです。) 特に本書で際立つのは、同じ出来事が別の見方で何度も書かれていること。筒井康隆さんの「現代語裏辞典」を引用した「あとがき」も、山下さんならではの、演奏と同様、中身は思うぞんぶん駆け巡って、終わりはきっちり。さすがです。(A.Y.)

bauhaus 1919-1933

1919年に創設され、画家パウル・クレーをはじめ一流の建築家・職人を擁し、革新的な教育を行ったドイツの学校「バウハウス」。洗練されたデザインや思想は、世界に大きな影響を与えました。本書では図版とともに、バウハウスの歩みを解説。読み進めると、教授間のいさかや、資金問題、3度の引っ越しと、14年間のできごとと思えないことが次々に起こります。しかし一貫しているのは、常に変化を求め実験を繰り返す姿勢。そんなバウフルさに、久々の疾走感を味わいました。(K.M.)



最近、こんなの読んでます

STAFF SELECTION PLAZA REVIEW

→ 文化フォーラム春日井・文化情報プラザで閲覧できます。ぜひ、どうぞ。

New!! SHOP

友の会 PiPi 新・提携ショップ



春日井でおなじみの、美容院ブランシェ・グループが運営する定額制ネイルサロン Nail's juic-yが、友の会提携ショップになりました。勝川駅南口を出てすぐのこちらのお店は、¥4,500でクオリティの高いネイルができると、女性たちの間で大人気です!!



数多くのアートサンプルの中から、自分にぴったりのものが選べますよ。どれにしようか、迷うのも楽しみの一つです!



春日井店ならではのオプションサービスは、ネイルをしながらお隣の「もみ処 匠の手」のマッサージがうけられること!! 至福のひとつをどうぞ。

ネイルズ ジュシー
New! Nail's juic-y
サービス/会員登録料¥1,000が無料!
松新町6-3381-81 グランパノープII 1F
☎0568-31-2330
平 日10:00 ~ 21:00 (最終受付19:00)
土日祝10:00 ~ 20:00 (最終受付18:00)
(第3日曜日の受付は17:00まで)
年中無休 予約優先



編集後記

2月末の1週間、ダンサーの森下真樹さんが春日井に滞りました。その間、ワークショップや公演準備を進めながら、高森台小学校にお邪魔して、5・6年生を対象にダンスの授業をしました。このように、ホールを飛び出して出張することを「アウトリーチ」と呼びます。小学生たちは、森下さん、アシスタントの山崎麻衣子さん、笠井晴子さんと一緒にいろんな動きをして

いると、あら不思議、一つのダンスができあがりました。音楽にあわせて踊るのは、楽しいですね。「また、やりたい!」という声があちこちから聞こえてきました。午前中の授業が終わると、給食タイム! 森下さんたちは、久しぶりの給食をホクホクと楽しんでいらっしゃいました。おなかもふくれて、午後からまたダンス三昧なのでした。(A.Y.)

INFORMATION

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットの電話予約方法

1. まずは、お電話ください

PiPi会員の方 (受付時間 9:00 ~ 17:00)

PiPi会員専用 先行予約電話

☎ 0568-85-6078

※会員電話先行予約日(または期間)のみ、先行予約を受け付けます。
※先行予約日が会員期間内であれば、先行予約が可能です。また、チケット購入日が会員期間内であれば、割引特典が受けられます。

一般のお客様 (受付時間 9:00 ~ 20:00)

チケット電話予約

☎ 0568-85-6868

※チケット発売初日のみ、10:00からの受け付けとなります。

- 全席指定チケットを電話予約される場合は、座席の指定ができません。
- 文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて直接購入される方のみ、座席の指定が可能です。

2. チケット受取り方法を選択してください

A:文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザにてお受取り

チケット料金とお引換えください。お取り置き期間は、予約日から2週間以内です。(PiPi会員先行予約の方は、一般発売日以降となります。)

B:代金引換にて、ご自宅でお受取り

郵便配達にて、ご自宅にチケットをお届けいたします。
チケットと引換えに配達係員に指定の代金をお支払いください。

※注文後、約1週間程度で届きます。日にち・時間の指定はできません。
※チケット代金の他に、代金引換手数料として500円程度をご負担していただきます。

チケット発売初日の販売時間について

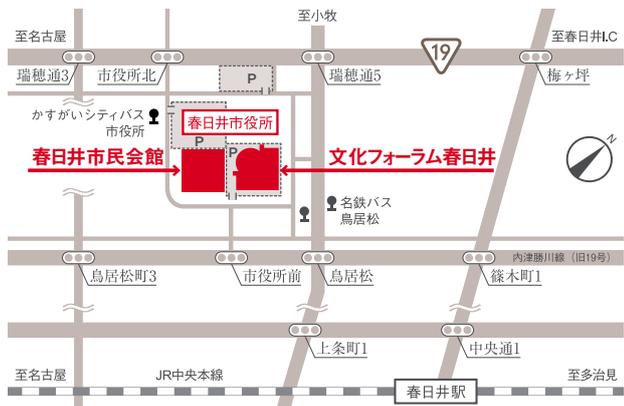
- | | |
|-----------------------------------|---------|
| ●文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザ 窓口販売 | 9:00 ~ |
| ●かすがい市民文化財団 電話&インターネット予約(代金引換含む) | 10:00 ~ |
| ●チケットぴあ/スポット&電話予約(Pコード予約) | 10:00 ~ |
| /コンビニ(サークルK、サンクス、セブンイレブン)での直接購入 | 10:00 ~ |
| ●ローソンチケット/電話予約(Lコード予約)&ローソンでの直接購入 | 10:00 ~ |
- ※公演によっては変更になる場合がございますので、お問合せください。

※前売完売の場合、当日券はありません。
※友の会PiPi会員価格でのチケット購入および車イス席の取扱いは、文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、および電話予約のみとなります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドでの取扱いはありません。)

文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館
<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/zaidan/>

486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日



- 交通のご案内
- JR中央本線「春日井駅」北口より
名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分 / 徒歩 北へ約20分 / レンタサイクル(無料)で約5分
 - かすがいシティバスでお越しの方
「市役所」下車、南へ徒歩2分
- ※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

今ひとつになりて
行かん

蒼の大地

第3回 養楽福祉会応援コンサート
春日井市民会館
2012年6月16日(土) 15:00開演
観覧料 大人 3,000円
黄和子チケット専用電話 090-6462-6517(9:00~21:00)

[主催] MUSIC FIELD / 中部日本放送
Special Stage
お気に召すかな!?

研ナオコ 野口五郎

5/25(金) 18:30 ~ (開場は30分前)
愛知県芸術劇場大ホール

[料金] S席¥6,500、A席¥5,500 税込・全席指定
[取扱い] ミュージック フィールド ☎052-752-2346

チケットぴあ (Pコード161-140) ※サークルK・サンクス、セブンイレブンにて購入可能

好評発売中

自分史は、読むより書いた方がオモシロイ。

心の中にある、大切な記憶や
体験を本にしませんか。
自分史、エッセイ集や
郷土史、詩歌集、写真集など、
原稿の内容とご予算にあった
本作りのお手伝いをします。
お気軽にご相談ください。

(担当：小山・寺西)



ARM corporation
株式会社あるむ
〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目1-12 第三記念橋ビル3F
TEL.052-332-0861 FAX.052-332-0862
E-mail:arm@a.email.ne.jp http://www.arm-p.co.jp

出版案内進呈します。

今までよりも“今”が最高でありたい。

各種イベント・舞台の裏方をプロがサポート
照明・音響・企画制作・・・なんでもご相談ください。

企画制作 各種演出 照明 音響 ホール管理

JS 株式会社ジェイエス
〒463-0070 名古屋市守山区新守山922番地
tel.052-795-9331 (10時~18時/平日のみ)
<http://www.js1979.co.jp>